

# ワタ様も入電電

## 新刊



名進研小学校

5年

作 伊藤 功太郎

2024年出版



# アイテアがうみだす入電電

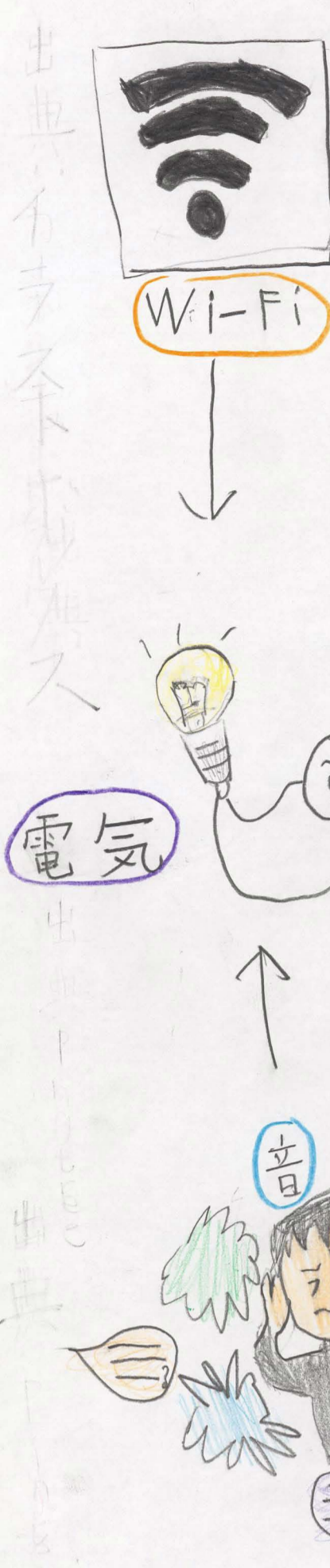
はじめに

私たちがカベ親聞コンテストに応募したのはみなさんにいろいろな方法で電気をつくっているとしてほしかったからです。日本や外国にはおもしろくてユニークな入電電がありまます。ぜひ見てください。

出典：リーボンネットワークを加速させるメディア

まず二つ目に紹介するのは、WiFi入電電波から入電電する方法です。この入電電方法はシンガポール国立大学が開発しました。磁気トンネル接合という素粒子からコンデンサーを丸く電圧、LEDを光らせることに成功しています。

二つ目に紹介するのは音力入電電です。音は空気の振動で伝わっています。なんとそのわずかな振動を圧電素子に加えることで電気を生みます。この入電電を利用した制衣ロッドも開発しているそうです。三つ目(最後)に紹介するのは有名な地熱入電電の反対に地熱を地中に再注入するという方法です。その方法は発生する二酸化炭素素子を



日本のかかえる入電電の問題。実はいまだに解決できていません。たとい日本の中で特に多くおこなわれている火力入電電では二酸化炭素(CO2)をたくさんだしてしまします。二酸化炭素素子をださないのて有るな水力入電電も入電電をおこなうにあたってダムをつくらなければなりません。このえいさうで川をたくさん移動するサケなどの魚はダムの手前で死んでしま、自然にうまくありません。また上につているような入電電は費用が高くて実用化するのはまだむずかしいです。そこで、近年では太陽光入電電が多くなっているようになりました。この入電電方法は自然をこわさず日光だけで電気をつくられるのではばひろい場所でおこなわれています。また、小自エネ化がすすめられてきており太陽光パネル(太陽電池)を気持ち的にもつけやすくなっています。いてたくさん場所でもかか入電電だともあります。

竹即電は必ず必要ではないときに電気を生むことではないようにしたり、エアコン(とくに冷房はタイマーを上手につかたり長時間使用しない場合はプラグをぬいておいたりすること)で竹即電につなげます。なので、みなさんもぜひ竹即電を心がけて生活をおくってみてください。地球にもお金にもやさしい生活を



調べて感心したこと。感心相。ぼくが思う日本の課題は電気を生むこと。大事ですができるだけ竹即電をする事です。日本には火力入電電や水力入電電、バイオ入電電などたくさん種類の入電電をしていますが火力入電電が50%を占めています。あまりよくありません。なぜなら、火力入電電は石炭や石油をもちやして電気を生むので、二酸化炭素をだして気温が上がり、強い台風や集中豪雨などの異常気象や干ばつによる食糧危機。さらには海面上昇による居住地の減少などがおこっています。干ばつによる食糧危機。出典：武蔵村山市公式ホームページ

火 地球 気温が上がる

出典 Loop-denk soddoo